

大積小だより

愛・アイデア・アクション!

令和 7 年 7 月 7 日

第 18 号

北九州市立大積小学校

校長 古澤 律子

電話 341-8296

七夕 短冊に願いを ~どのような大人になってほしいですか?~

ごしきのたんざく わたしがかいた おほしさま きらきら そらからみてる



(たなばたさま2番の歌詞)

歌に出てくる「五色(ごしき)」とは、青、赤、黄、白、黒のことで、中国の陰陽五行説という考え方に由来しているそうです。また、五徳(仁・礼・信・義・智)に当てはまるそうです。短冊の色は、あまり気にしていませんでしたが、次のような意味がありました。

仁(青):人間力を高める徳	礼(赤):礼を尽くして感謝	信(黄):人を信じ大切に思う
義(白):きまりを守る	智(黒):学業の向上	

短冊には、将来なりたい職業やほしい物などを書くのもよいですが、本来の意味からすると、どのような徳を高めたいのか(どのような人になりたいのか)を願い、努力することを誓うということのようです。ご協力いただいた保護者アンケートから紹介します。読ませていただき、子どもたちの未来が楽しみになるとともに、学校で果たす役割の大きさも感じました。



◆(質問) 家庭では、お子さんにどのような大人になってほしいと願っていますか。

【保護者アンケートの主な回答】

- ・思いやりの心がもてる
- ・思いやりのあり、常識のある大人
- ・リーダーシップを発揮できる
- ・困っている人を助けられる人間
- ・優しく礼儀正しい
- ・周りをよく見て、思いやりのある行動ができる
- ・常に向上心を持ち、思いやりと感謝の気持ちを忘れない自立した大人
- ・自分のことをしっかりもちながらも、他者の考えも受け入れることができるしなやかな大人
- ・自分の意見をはっきり言える
- ・自分の意見を発信できる人
- ・話し合いができる
- ・自分で情報収集し、よく考えて選択し、時に周りに相談しながら自分で決め、行動し、責任をもつ大人
- ・困ったことがあったら、一人で抱え込まずに人に相談し、困難にぶつかっても粘り強い大人
- ・自分で考えて決められる、失敗してもよいので 何でも挑戦する。
- ・自分のことを理解し、自ら行動できる
- ・相手の意見も尊重でき、自分の意見も言える人
- ・世のため人のため、自分のため生き生きと働く人
- ・していいこと悪いことをしっかり考えられる
- ・法に触れない。ひとりで生活出来る
- ・弱い人にやさしく、困難があっても、我慢強い人になってほしい
- ・人を思いやり、自分と向き合い、努力や協力を忘れずに笑顔があふれる大人
- ・人の気持ちを考えられる人
- ・元気で最低限のマナーを身に付け、きちんとした仕事につける
- ・自分の得手不得手を理解している。
- ・好きなことがある
- ・自分と人、時間を大切にする
- ・自分を大切に、広い視野をもって思いやりがある
- ・いつまでも夢をあきらめない、向上心をもった大人
- ・きちんとあいさつができて、コミュニケーションがとれる大人



2年生 まちたんけん

2年生が、生活科の学習で、複数回、まちたんけんを方面別に3回行いました。自宅の近くはよく知っているものの、異なる方面では特に新しい発見がありました。地域と関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活している人々について考え、自分たちの生活は様々な人と場所と関わっていることを理解するとともに、それらに親しみや愛着をもつなどのねらいがあります。

探検したことをもとに、大積のまち、まちづくりについて学習したことをまとめました。



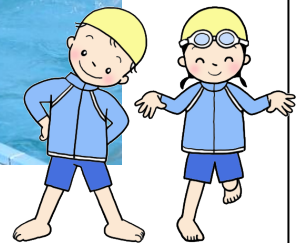
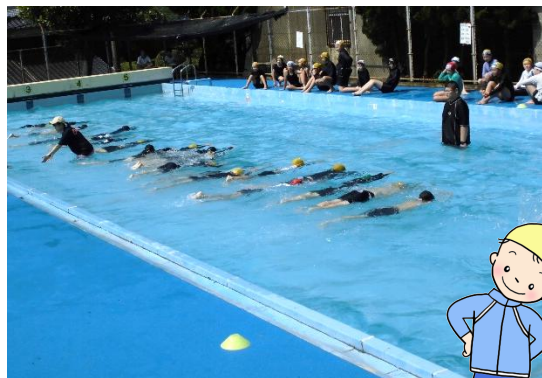
東郷市民センター



黒川駐在所

新しくなったプールサイドで、水泳学習

プール開きは遅くなりましたが、順調に水泳学習が進んでいます。プールサイドが新しくなり、より安全に学習ができています。今年は、気温・水温が高く、プールに入ると気持ちがい反面、熱中症には十分留意し、休憩と水分補給しながら実施しています。この期間は、思った以上に体力を消費しますので、ご家庭では入念な健康観察と十分な睡眠時間の確保にご協力いただけると幸いです。



安全対策をしていただきました（黒川西方面）

今年度より通学路を変更した関係で、信号のある横断歩道を黒川西方面の子どもたちが毎朝渡ってきます。毎朝、地域の方が二人立って、登校時の安全指導を行っていただいています。心より感謝申し上げます。また、東郷中学校運動場から大通りに抜ける箇所が、車との接触の危険があるとして、4月より警察署、まちづくり整備課に対策をお願いしていました。今回、子どもたちが渡る側に注意喚起の表示とポールをつけていただきました。子どもたちに注意して（必ず立ち止まって左右を確認）渡るよう学校では指導しています。保護者の皆様も、この標識の場所に気を付けるよう、お声掛けください。

また、以下についてもご指導をお願いします。

- (1) 道路や踏切を横断する際は、必ず左右を確認し、車が来ていないことを確認すること
- (2) 歩行の際は、歩道や路側帯などの定められた場所を歩くこと
- (3) 自転車に乗る際は、特に以下の点に留意すること
 - ・ ヘルメットを着用するよう努めること（道路交通法 第63条）
 - ・ 二人乗り、片手運転（スマホの操作や傘をさす等）は行わないこと



登校時、下校時に確認できるように、2か所に設置していただいています。